

高大一貫教育での読解とライティング・オンラインレッスン

早稲田大学、名誉教授、中野美知子
Waseda University, Honorary Professor

1. はじめに

多くの大学には、付属・係属の高等学校が設置されているが、高大一貫教育を本格的に導入している所は少ない。この研究では、大学でのライティング授業を開発した経験に基づいて、高等学校で基本となる英文エッセイの構造とその要素を教示すべく、6回のオンライン授業を実践した。受講生が感じる教材の難易度を調査し、教材開発の基礎資料とした。また、事前・事後テストにより、授業効果も考察した。

2. オンライン実験の概要

2.1 授業案

6回の授業は次のようなものであった。

2020年12月 3回

1回目 事前テスト Tourism in Japan and the world (500語)の英文を読み7問の内容確認問題を多肢選択形式で解答させた。記述問題は7問あり、難易度を5点表記で答えさせた。

2回目 英文ライティングの構造として、背景、主題(作者の主張)、サブテーマ、支持文(証拠や例証)、反論、反駁、結論を導入し、500語の英文を提示し、記述問題9問と難易度判定をさせ、かつ、動物実験の英文を読ませ、支持文の練習問題を与えた。

3回目 移民政策についての500語の英文を読解しながら、主題に対する反論と反駁の練習をさせ、5つの記述問題を与え、難易度判定をさせた。エッセイの要素を識別する多肢選択問題もあった。

2021年1月から2月23日まで

4回目 反論の書き方を徹底的に行った。主題に対する反論には必ず、支持文が必要なこと、支持文には、証拠か例証が用いられる。さらに、反論に対して反駁し、作者の主張が結論となるように書くことを注意した。

5回目 留学の是非についての500語の英文を読み、6問の内容把握問題をとき、8問の記述問題に答え、教材の難易度判定もさせた。

6回目 事後テストとして、1回目の事前テストと同じ問題を課した。

2.2 実験結果

実験は2020年12月に開始した。3回目まで、授業期間中に行うことができたが、2021年になって、コロナ禍により、休校になったため、残りの3回は、参加学生が激減した。参加人数は図1に示すが、Bクラスは延べ74名、Dクラスは延べ116名が参加した。

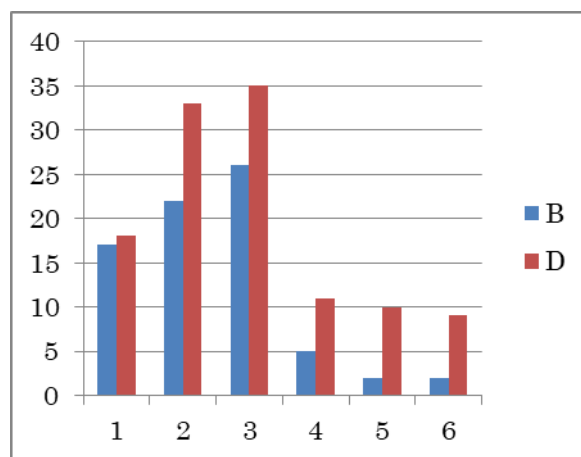


図1 参加者数の比較

図2は、各レッスンの平均点の推移を示す。グラフが示しているように、レッスンが進むにつれて、平均点が向上しているのがわかる。事前テストと事後テストはT検定により、統計的な優位さがあることが分かった。

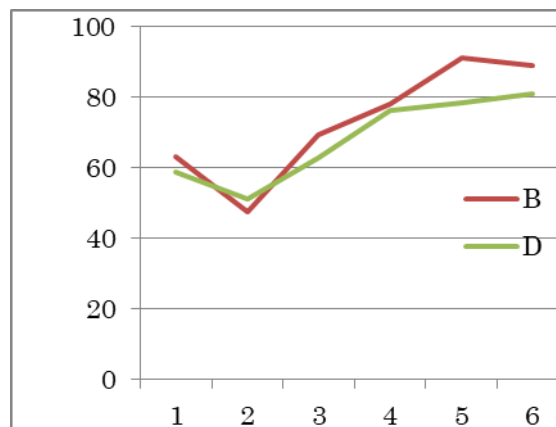


図2 レッスンごとの平均スコアの比較

図3は多肢選択課題による内容理解問題の平均解答スコアを比較している。事前テスト以後、4回のレッスンで、各回ごとに読解力が上がり、最後の事後テストでは満足のいく結果が得られている。500語の英文を合計8本読ませ、記述問題に答えようとする姿勢が育成されたとみるべきであろう。以下のセクションでは、記述問題の成績と難易度判定の相関を調べ、同のような問題が、学生に適切であるかの調査の基礎資料と考えた。難易度判定はあくまでも、学生の感じた主観的なものであるもので、将来、脳波のような客観的な資料も得たいと考えている。

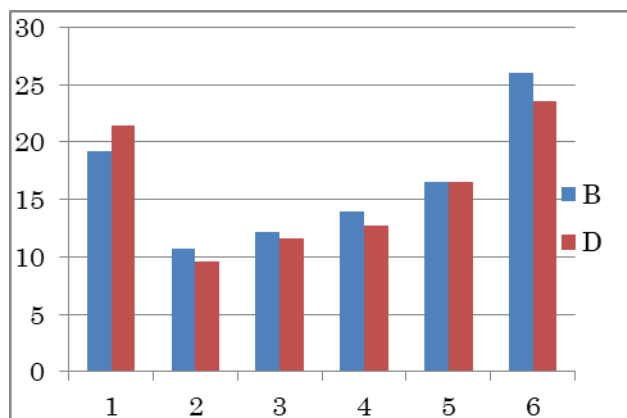


図3 多肢選択問題による内容理解スコアの比較

2.3 教材の主観的な難易度と成績の関係

記述問題では、毎回、学生に難易度を判定してもらった。表1では記述問題スコアの平均値、難易度判定の平均値、相関を示している。

表1 記述問題成績、難易度判定、相関

1回目 B	平均点	難易度平均	相関
記述 1	4.47	3.82	-0.3793
記述 2	7.94	3.82	-0.511
記述 3	7.17	3.82	-0.4219
記述 4	7.06	4.18	-0.3787
記述 5	5.24	4.12	-0.422
記述 6	4	3.47	-0.2432
記述 7	6	3.59	-0.6405
1回目 D	平均点	難易度平均	相関
記述 1	0	4	0
記述 2	7.39	3.72	0.3941
記述 3	5.78	3.89	-0.0805
記述 4	6.89	3.67	-0.1591
記述 5	5.39	3.72	-0.2104
記述 6	4.11	3.33	-0.5779
記述 7	6.17	3.44	0.1415
2回目 B	平均点	難易度平均	相関
記述 1	4.86	3.05	-0.0896
記述 2	5.95	3.5	0.15886
記述 3	3.28	3.5	-0.0095
記述 4	5	3.59	-0.0334
記述 5	4.23	4.18	0.3181
記述 6	3.41	4	0.0901
記述 8	1.95	4.63	0.1883
記述 9	4.68	3.86	0.161
2回目 D	平均点	難易度平均	相関
記述 1	5.42	3.48	0.0402
記述 2	6.45	3.61	-0.4321
記述 3	4.61	3.88	0.1282

記述 4	4.67	3.88	0
記述 5	5.55	4.12	-0.0689
記述 6	3.67	3.97	-0.074
記述 8	3.03	4.12	0
記述 9	4	3.63	-0.2037
3回目 B	平均点	難易度平均	相関
記述 1	8.04	3.76	-0.0438
記述 2	6.64	3.72	0.0134
記述 3	7.32	3.76	-0.0818
記述 4	7.24	4.04	-0.3891
記述 5	8.72	3.88	-0.0214
3回目 D	平均点	難易度平均	相関
記述 1	5.85	3.68	0.1737
記述 2	6.09	3.74	0.1875
記述 3	6.68	3.74	0.2235
記述 4	6.24	4	0.2235
記述 5	8.06	3.85	0.2614
4回目 B	平均点	難易度平均	相関
記述 1	17	4.6	0.527
記述 2	16	4.2	0.2397
記述 3	14.6	4.4	0.57
記述 4	16.6	4.4	0.6492
4回目 D	平均点	難易度平均	相関
記述 1	16.09	3.82	-0.2841
記述 2	16.64	4.36	-0.3602
記述 3	15.45	4.36	-0.6425
記述 4	15.27	4.36	0.3991
5回目 B&D	平均点	難易度平均	相関
記述 1	7.83	3.42	-0.1744
記述 2	7.33	3.67	-0.4842
記述 3	7.83	4.17	-0.5006
記述 4	8.25	3.67	0
記述 5	7.33	4.25	-0.3936
記述 6	8.25	3.67	-0.3202
記述 7	7.33	3.58	-0.4191
記述 8	9.17	4.58	-0.3608
6回目 B&D	平均点	難易度平均	相関
記述 1	7.45	3.64	-0.0093
記述 2	9.36	3.73	-0.3603
記述 3	8.36	3.63	0
記述 4	8.45	3.91	-0.0839
記述 5	9.09	3.64	0.0417
記述 6	7.91	3.55	-0.4329
記述 7	8.73	3.64	-0.4329

発表では、3種の相関パターン(正の相関、負の相関、無相関)と設問内容の関係を考察し、学習者の能力に応じた教材内容の改善案を提案したい。